

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和元年11月16日

事業所名: 放課後等デイサービス フェローLabo

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

回答数 32/47家庭

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○			22	6		3	・子ども達には不満があるようだ。	用途に応じて最適なレイアウトを心がける。
	2 職員の適切な配置		○		・人手が足りない時は、多機能型のスタッフ同士、サポートし合っている。 ・規定は満たしているが、サービスの質向上の為には増員できると良いかもしれない。	18	1	3	9	・適切と思うが、利用者の個性に合う対応には限りがないと思う。 ・送迎時にトラブルがあった為、職員の数が足りないと感じた。 ・そのような人が何人いるのか分からない。	多機能型を活かし、サポート、アルバイトの配置等随時行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		・いずれは重度な子ども達を受け入れられるように、環境面を準備していけると良い。	21	1	1	3		要望を聞きつつ、少しずつ対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・朝とサービス提供後毎日掃除をしている。	25	2		4		毎日の掃除を引き続き行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・部署計画、申し送り等職員皆での話し合いはできている。						毎日の申し送りを引き続き行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○							積極的に外部評価を活用していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○		・人間力向上の為の研修は充実しているが、専門分野(福祉)は、各々が参加している。共有する場をもっと積極的につくっていく。						専門分野の勉強会も充実させていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				29	1	1		・具体的かと言われると、分からない。 ・ふり仮名を振って欲しい(いいえ) ・モニタリングも本当は直接伺った	モニタリングでは、丁寧な聞き取りを大事にしていきたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				22	4	1	1		引き続き、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○									引き続き、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	○			・計画を立てた後に、意識できている人と、内容を確認できていない人に差がありそう。	24	4		3		個別支援計画を随時確認する習慣をつけていく。	
	5	○			・特に月1回の調理イベント						申し送り、部署会議を更に充実させていく。	
	6	○			・本人のニーズを聞きながら、新しい活動にもチャレンジする機会をつくっていきたい。	22	5		4	・もう少しプログラムがあっても楽しいかもしれませんが。 ・色々と考えてくださってはいますが、少しマンネリ化している気がします。(まだその段階ではないのかもしれませんが)	スタッフの強みを活かしつつ、子ども達にとってより学びに繋がる活動を随時考え提供していく。	
	7		○		・休日は、日中公園にて体を動かす機会をつくっている。						特に休日に関しては、休憩時間も挟みつつ活動できるよう、計画を立てることを大事にしていく。	
	8	○			・毎日の申し送りでは、会議録をつけて次に活かすようにしている。						毎日の申し送りを引き続き行っていく。	
	9	○			・翌朝の申し送りで確認している。 ・共有事項は、その都度記録して残している。						毎日の申し送りを引き続き行っていく。	
	10	○			・申し送りにて、一人ひとりの支援の在り方に関しても話す場を設けている。						引き続き、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。	
	11	○									引き続き、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。	
	関係機関との連携	1	○									引き続き、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。
		2				該当者なし						該当者なし

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当者なし						該当者なし	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○		・今後もっと強化していきたい(学校、家庭、他事業所との連携)							関係者との連絡を積極的にとりつつ、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		○		・相談支援専門員さんを通してのパターンが主だが、関係者が集まって情報共有する機会が欲しい。							関係者との連絡を積極的にとりつつ、それぞれのニーズに沿った支援を心がける。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		○									今後積極的に研修等受講していきたい。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	・公募のハロウィンイベントや夏祭りイベントにて交流する機会は多少あるが、今後もっと交流できる機会を増やしていきたい。	11	3	4	13			イベント等、地域に根ざした活動を通して、障がいのない子どもと活動する機会も提供していきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○			・夏祭りイベントでは、多くの地域の方にも来て頂き、フェローを知って頂ける機会となった。							イベント等、地域に根ざした事業運営を心がけていきたい。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				27	3		1			引き続き、丁寧な説明を心がける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			・電話でのモニタリングが主になっているが、モニタリング時は出来る限り来所してもらって話をできるようにしていきたい。	22	5	1	1	・漢字が読めないのでルビをふって欲しい。		モニタリングは、出来る限り保護者の皆さんに来所して頂けるように声かけしていく。
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			○		10	7	5	9			保護者様向け勉強会の中で、ニーズに沿った学びを提供できるよう準備していく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4		○			24	5	1	1		お便りやお電話、直接対応を通してしっかりと子どもの状況に対して共通認識していけるようにする。
	5		○		・経験年数がまだ浅い職員も多い。適切な助言や支援ができる人を増やしていけるようにしていきたい。	13	6	4	6	・育児に関する助言はない。	保護者様に対して、適切な助言・対応ができるよう研修等に参加し、スタッフ一人ひとりの専門性を高めていく。
	6		○		・保護者様の声に耳を傾け、迅速に対応できるように努めていきたい。	10	7	3	11	・機会はあったけれど、参加できる時間帯でなかった。	開催時期や時間帯等も含め、より多くの人に参加して貰えるように計画を進めていきたい。
	7		○		・ケースによって、対応が遅れてしまっている場合もある。	17	2	3	9	・職員によって対応が異なる。 ・問い合わせたことに対する返信が遅い。いい加減と感じることがある。 ・昨年度のわいせつ事件の際に、保護者に対する説明がくもモヤモヤした。今後どう対応していくか等の対策等教えて欲しかった。信頼しているスタッフさんばかりではあるが、何の説明もないのはモヤモヤする。	迅速且つ丁寧な対応を心がける。
	8		○			23	4		4		丁寧な聞き取りと説明を心がける。
	9	○			・振り返りだよりは良いと思う。	23	2	1	4	・SNSやHPで、子どもの活動の様子をもっと発信して欲しい。 ・振り返りだよりは嬉しい。	新鮮な情報が伝わるように、連絡・更新頻度を上げる努力をする。
10	○				25	2		4		適切な取り扱いを心がける。	
非常時等の対応	1		○		・救命救急講座を実施した。（利用児も一緒に） ・目に留まりやすいところにマニュアルを掲示する。	12	4	2	12		実施していることに関しては、保護者様にもお伝えしていく。
	2		○		・今後、定期的に避難訓練を実施予定。	7	6	2	16	・やっているのを聞いたことない ・職員が訓練を受け、対応できるようになっていれば良いと思う。	避難訓練の頻度を上げる。また、実施していることに関しては、保護者様にもお伝えしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見		
非常時等の 対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			・随時研修を行っているが、頻度は少なめ。回数を増やしていきたい。						子どもの支援に関わる研修の頻度を上げる。	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			・随時身体拘束に関する説明を行い、個別支援計画に記載している途中。(現在進行中)						その都度丁寧な説明を行った上で、個別支援計画に記載していく。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○			・フェイスシートに記載欄を設けている。						職員全員で、情報の共有を徹底する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○				・もっとヒヤリハットを挙げていき、安全安心に利用して頂ける事業所にしていきたい。						ヒヤリハットを出しやすいようなフォーマットを作成することで、事例を蓄積・検証していく仕組みを整える。